

第150回東葛自然観察会

江戸川土手で夕刻の自然を楽しむ（虫・コウモリ・星）

西河内ひとみ（船橋市）

日時：2018年8月25日（土）16時30分～19時30分

参加者：大人11名、子ども9名

担当指導者：草野・守永・西河内 講師：渋谷 孝 氏

例年にはない2個同時の台風がやっと遠のき、晴天の下、観察会を始めることができました。夕刻とは言え猛暑残る街の喧騒をぬけ、江戸川の土手を登ると、そこは、風の通り道。草原に入った途端に温度が下がった別世界。空も広く広がっています。

安全と捕った虫は観察後放す等の注意確認してから、まずは、明るいうちに虫捕りに挑戦しました。下見では大きな虫が少なかったため、捕獲範囲を広げたり早めのサンプル準備したり等の工夫がなされ、また、虫の成長や種類の増加もあったので、たくさんの虫に出会うことができました。トノサマバッタ、クビキリギス、オンブバッタ、クルマバッタモドキ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、アジアイトンボ、アオモンイトトンボ、ヘリカメムシ、マダラスズ、アブラゼミ、ツクツクボウシなど様々です。特に子どもたちの気を引いたのは、大型のショウリョウバッタやウスバキトンボで、夢中になるあまり水辺方向へ行かないようにとの配慮もなされました。大人も子どもも、虫に詳しい講師から個々にも教えてもらうことができ、目を輝かせていました。

西の空が美しく輝いた後、1番星・1番コウモリ探しを、薄暗くなつてからはコウモリ○×クイズ、バットディテクターでのアブラコウモリ音声キャッチを楽しみました。人間が思っているよりもコウモリはたくさんいることを実感しました。

暗くなつてからは星空の観望、望遠鏡の前には幼児たちも一所懸命に並び意欲を見せっていました。火星、木星、金星、土星、月等の詳しい模様や人口衛星 までもが観察されました。

鳴く虫たちの声が響き渡るころには、タチヤナギの並びを歩き、アオマツムシ、ツヅレサセコオロギ、オカメコオロギ、エンマコオロギ、カンタンの共演に耳を傾けることができました。

雷の稲妻が遠方で繰り返されたため、少し早めの終了となりましたが、大人も子どもも夕刻の自然を満喫することができました。振り返りでは虫やコウモリなど（いろんな生き物に会えて）よかつたとのことでした。



夕暮れの星空観望・コウモリ探し